



平成22年度

# 臨床研修医(歯科)募集案内

INTERNATIONAL MEDICAL CENTER OF JAPAN  
TOYAMA HOSPITAL



国立国際医療センター  
(戸山病院)

〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1 TEL (03) 3202-7181 FAX (03) 3207-1038

# 目 次

	ページ
1. 国立国際医療センター（戸山病院）の概要	1
2. 初期臨床研修プログラムの概要	2
3. 研修内容	
歯科初期臨床研修プログラム	3
4. 研修期間	5
5. 研修修了の認定	5
6. 研修医の身分・待遇	5
7. 定員	5
8. 応募資格	5
9. 応募手続	5
10. 選考方法	5
11. 選考日時及び場所	5
12. 採用内定通知	6
13. 連絡先	6
14. 環境	6
15. 交通	6

# 1. 国立国際医療センター（戸山病院）の概要



木村 壯介 戸山病院院長



桐野 高明 総長



清水 利夫 戸山病院副院長

## 設立の目的：

国立国際医療センターは、「医療協力は、開発途上国の人々にとって人間生活の基本的要求に直結する最も社会的効果の高い人道援助の一つであり、その充実強化のため国際協力にかかるセンターを設置する必要がある」との考えに基づき、わが国での医療分野における国際貢献の拠点になるべく、第4のナショナルセンターとして創設された。そのために、従来のナショナルセンターのように疾患別の専門医療・研究施設ではなく、医療分野における研修・派遣・研究等が総合的に可能な高度専門医療センターの形態をとっている。

## 歴史：

国立国際医療センターは、国立病院医療センターと国立療養所中野病院の統合により、1993年10月に創設された。国立病院医療センターの発祥は、昭和4年に、現在地に陸軍東京第一衛戍病院として創設されたときに遡る。昭和13年臨時東京陸軍第一病院と改称、昭和20年厚生省へ移管後、国立東京第一病院と再改称された。以来、高度の診療内容をもった国立の代表的総合病院として、わが国の医療の質の向上に努める一方、日本有数の教育病院としての役割も果たした。昭和49年4月、国立病院医療センターと改称され、病院・臨床研究・卒後研修の三者の有機的組織を特徴とする、わが国の中枢的综合医療機関としての地位が確立し、昭和63年にはWHOから、「国際保健医療協力センター」に指定されている。国立療養所中野病院は、大正9年創立の東京市療養所に起源を有し、昭和22年厚生省へ移管され、国立中野療養所と改称、昭和42年には国立療養所中野病院となった。昭和54年には、胸部疾患基幹施設に指定され、胸部疾患の診断・治療の中心的医療施設となっていた。

平成20年4月には国立精神神経センター国府台病院が国立国際医療センターへ編入され、新宿区戸山地区の病院は国立国際医療センター戸山病院と呼称されることとなった。この改編により、国立国際医療センターは名実ともに初期臨床研修を行う唯一の国立の医療機関となった。

## 機構：

当センターの戸山地区（新宿区）の組織には、戸山病院の他に、運営局・国際医療協力局・研究所があり、千葉県市川市に国府台病院および都下清瀬市に国立看護大学校がある。運営局は、当センターにおける総括的業務を担当すると共に、国際医療協力局・病院・研究所の円滑な運営に努めている。国際医療協力局は、途上国への適正技術移転のための派遣協力、受け入れ研修の他、国際協力に関する情報の収集・分析および計画の立案を行っている。研究所は、感染症に関する病因・病態生理・診断治療、国際協力の推進に必要な社会学的要因の解析、および国際協役に役立つ高度先進医療に関する研究を主に行っている。また、国府台病院は、精神科・児童精神科・心療内科が活発な診療・研究活動を行う一方で、総合病院機能を擁しており独自に初期臨床研修医を採用・教育しているが、既に行われて好評な精神科のローテーションに加え、交流を深めることでより効果的な教育を模索する方針である。

## 病院：

当センター戸山病院の診療は、370余名の医師からなる28の診療科により行われている。病床数は885床で、平成20年度の一日平均入院患者は714.9人、また外来患者数は1606.0人。そのほか、年間の総手術数約4500（外來手術、内視鏡手術を除く）、救急車搬入約8380、総分娩数560、総剖検例数98（剖検率18.0%：うち内科は78件）、総発表論文数および総学会発表数各800以上など、極めて高度な診療レベルと学術レベルを保ち、諸外国からの医師や看護婦などの留学・交換研修も行われている。

なお、当センター戸山病院は以下の学会の専門医制度の認定施設である。

内科学会、消化器病学会、消化器内視鏡学会、肝臓学会、循環器学会、腎臓学会、透析医学会、呼吸器学会、アレルギー学会、リウマチ学会、糖尿病学会、血液学会、外科学会、消化器外科学会、小児科学会、整

形外科学会、脳神経外科学会（A項認定施設）、胸部外科学会、呼吸器外科学会、心臓血管外科学会、産婦人科学会、泌尿器科学会、眼科学会、耳鼻咽喉科学会、皮膚科学会、医学放射線学会、麻酔学会、ペインクリニック学会、口腔外科学会、病理学会、超音波医学会、輸血学会、核医学会、集中治療医学会、大腸肛門病学会、心血管インターベンション学会、救急医学会、神経学会、静脈経腸栄養学会、プライマリケア学会、乳がん学会、リハビリテーション学会、放射線腫瘍学会、臨床腫瘍学会、骨髄移植推進財団非血縁者間骨髄採取・移植認定施設、東京都医師会母体保護法指定医師研修指定医療機関、日本臨床検査医学会、日本臨床細胞学会、日本病院会指定優良一泊人間ドック施設、日本小児循環器学会、日本輸血細胞治療学会、日本栄養療法推進協議会、日本精神科学会、マンモグラフィ検診施設画像認定施設、日本形成外科学会、日本周産期・新生児医学会、日本IVR学会、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本脳卒中学会、日本内分泌代謝学会、日本輸血細胞治療学会、日本気管食道科学会、日本総合病院精神医学会、日本感染症学会、日本精神神経学会、日本呼吸器内視鏡学会、ステンドグラフト実施施設、日本高血圧学会

## 2. 初期臨床研修プログラムの概要

国立国際医療センター戸山病院における初期臨床研修プログラムは、臨床の場で必要な基本的医学知識と技術の修得のみならず、医師・歯科医師としての望ましい態度と習慣を身につける事を到達目標としたプログラムである。

このプログラムの特徴は、将来進むべき領域におけるプライマリ・ケアと包括的医療の実践において必要な臨床能力の修得および開発を目的に考案されたプログラムである。すなわち、将来進むべき領域において重要と思われる専門科をより多くローテートし、幅広い臨床能力を取得するためにスーパーローテート方式を取り入れた研修プログラムを必修化以前より長年実践してきている。具体的には、研修医は、1) 内科系プログラム、2) 外科系プログラム、3) 総合医（Generalist）プログラム、4) 小児科プログラム、そして5) 産婦人科プログラムのいずれかに属し、それぞれの研修カリキュラムに従って研修を受けるが、各々のプログラムは必修ローテーションと選択ローテーションを有しており、それぞれのプログラムに適した教育が可能になるカリキュラムより構成されている。

歯科医師研修もこの方向に沿い、他科との密接な連携のもと、歯科医師として幅広い臨床能力の修得を目的としている。医師の研修と同様に専門性・総合性を持つ歯科医師の育成のため、必修の1年目に加えて、2年目も継続することが望ましい。

国立国際医療センター戸山病院は、28の専門科および総合診療科を有し、また free consultation system のため各科間の連携が非常に円滑であり、総合臨床病院として理想的な運営が行われている。このため全ての研修プログラムが他の施設に依存することなく当施設で可能であり、研修内容および基準の統一および管理そしてその維持を容易にしていることが特徴である。

厚生労働省から示されている研修目標を満たすのみならず、研修成果をより向上させる目的で、全ての研修科において到達目標を設定し、また、これらの目標に対する達成度を評価する目的で研修医の自己評価表および指導医による客観的評価を施行してきている。これらの評価表を利用することにより、研修内容へのフィードバックが可能でありより充実した研修が可能になるように配慮されている。さらに、この研修プログラムの一環として、研修医と指導医の間で相互評価を行うことが定められているが、この相互評価は被教育者のみならず教育者の質の向上にも役立ち、当施設における研修をより有益なものにするシステムと考える。

研修においては、臨床研究の重要性も学ぶことが要求されており、学会発表なども積極的に行われている。研修終了後には、歯科研修医を含めた全研修医の参加の下に研修終了発表会が開かれ、研究発表能力の指導も行う。この会でベスト研修医の表彰が行われる。

国立国際医療センターの特徴として外国からの留学医師や看護師に接する機会が多く、また外国人の患者をケアすることも多い。また、国際医療協力局の医師ばかりでなく、病院スタッフの多くも途上国に派遣され、国際協力に従事している。国際医療協力関係のカンファレンスも多く開かれており、国際的見地から医療を学べる等の利点もある。

初期臨床研修プログラムの目的は、“真の臨床能力”を有する“良い医師”を育成する事であろう。したがって、下記の T.S.Eliot の詩にも述べられているように、膨大な医学知識を修得することに熱中し、医師としての“人間性”や“英知”を研ぐことに無関心な医師を育成しないことに配慮しながら研修指導を行うことを重視してきた施設でもある。

"Where is the wisdom we have lost in knowledge?  
Where is the knowledge we have lost in information?"  
T.S. Eliot (Choruses from 'The Rock', 1934)

### 3. 研修内容

#### (1) 歯科初期臨床研修プログラム



丸岡 豊  
教育指導責任者

#### I. プログラムの目的と特徴

本プログラムの目的は、総合病院の歯科・歯科口腔外科として、多くの患者と症例を経験することによって、歯科・歯科口腔外科領域の基本的知識と技術を、さらに歯科医師としての望ましい態度と習慣を修得することである。

総合臨床病院の歯科・歯科口腔外科ということで、全身疾患を有する患者の歯科治療を、他科と連携して非常に円滑に行っている。救急部の充実の下、骨折などの外傷症例も多く、速やかな入院、手術で対応している。地域の診療機関との病診連携の下、炎症、嚢胞、腫瘍、顎変形症、顎関節症など様々な口腔外科疾患患者が、多数紹介受診するなどの特徴があり、その結果、より実践的な診療能力や応用力を身につけることができる。

定期的に抄読会や症例検討会、勉強会を行っており、研修の一環として学会への参加及び発表を行う。

#### II. プログラムの内容

全科研修医に対するオリエンテーションに参加し、オーダリングシステムの使用法、処方、検査依頼、他科依頼の方法、院内の諸規則、患者への接し方の基本などを学んだ後、歯科・歯科口腔外科に配属される。

##### 第1年次

指導医と共に、外来診療、病棟診療、手術に参加し、歯科・歯科口腔外科診療における基本的知識と技術を修得する。

- 外 来：**初診患者の診断法（診療録の作成、病歴聴取、現症記載、診療用顎模型作製、口腔顎顔面写真撮影、X線写真撮影、バイタルサインの見分け方、各種臨床検査法、診断及び治療計画の立案、インフォームド・コンセントなど）治療（基本的な保存修復治療、歯周治療、歯内治療、補綴治療、口腔外科治療など）
- 病 棟：**入院患者の術前評価（病歴聴取、現症記載、各種術前検査の意義・解釈・実施、手術術式の検討）入院患者の全身管理（静脈注射・点滴・胃管挿入・導尿などの各種基本手技、術後創傷処置法、薬物療法、術後全身管理法など）
- 手 術 室：**手洗い法、ガウンテクニック、手術野消毒、感染予防の知識手技、手術見学、手術介助、全身麻酔法の見学など

##### 第2年次

第1年次の研修を踏まえて、配当患者を診療し、臨床研修を行う。

外 来：保存系研修（歯周手術、複雑な保存修復治療・歯内治療など）補綴系研修（複雑な歯冠補綴・欠損補綴、多数歯欠損ブリッジ、部分床義歯、全部床義歯など）口腔外科系研修（難抜歯、消炎手術、小帯・歯槽骨整形手術・歯根尖切除術などの各種小手術、固定法、画像診断法、笑気吸入鎮静法、静脈内鎮静法など）

病 棟：入院患者の担当医など歯科口腔外科チーム医療の一員として治療に参加する。

手術室：手術に参加する機会を積極的に与え、簡単な手術には術者として参加する。

### Ⅲ. 研修歯科医評価

設定された到達目標に対する達成度を研修医の自己評価および複数の指導医による客観的評価を施行し、この相互評価に基づき、さらに研修修了発表や口頭試問などを総合評価する。尚、2年制のカリキュラムであるが、1年次修了時においても評価、認定する。

## 4. 研修期間

平成22年4月1日から2年間（予定）

## 5. 研修修了の認定

国立国際医療センター臨床研修委員会において研修修了の認定を行い、臨床研修修了証書が交付される。

## 6. 研修医の身分・待遇

- 1) 身分：非常勤職員
- 2) 給与：平成21年度実績：月額税込約210,000円。
- 3) 保険：社会保険（健康保険・厚生年金）、雇用保険の適用がある。
- 4) 住居：教育研修棟（個室、冷暖完備）に入居する。月額使用料 約1万円
- 5) 食事：食堂（有料）がある。
- 6) 駐車場：無

## 7. 定員

3名（予定）

## 8. 応募資格

原則として、平成22年3月歯学部卒業見込のもの。歯科医師マッチングに参加するもの。

## 9. 応募手続

- 1) 提出書類
  - (1) 臨床研修医申込書（当センター指定用紙）
  - (2) 履歴書（当センター指定用紙、本人自筆、写真貼付）
  - (3) 卒業見込証明書
  - (4) 成績証明書
  - (5) 返信用封筒（長3封筒に住所・氏名記入のうえ、80円切手を貼付すること）
- 2) 申込先 〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1  
国立国際医療センター運営局庶務第一課人事係
- 3) 申し込み〆切 平成21年8月10日（月）必着

## 10. 選考方法

- 1) 面接・口述試験
- 2) 英文要約（英和辞書使用可、各自持参のこと）
- 3) 可能な限り、面接を行う方針であるが、応募者多数の場合は、1次選考として書類選考を行う場合がある。その際、履歴書2、3ページによる事前の書類を参考にする。

## 11. 選考日時及び場所

平成21年8月22日（土曜日） 受付 午前8時30分から  
於国立国際医療センター戸山病院

## 12. 採用内定通知

マッチングの結果による。

## 13. 連絡先

応募に関する照会および応募書類の請求は下記まで。

書類の請求に当たっては、200円切手を貼った返信用封筒（角2型、住所、氏名を記載）を同封し、封筒表面に「歯科書類請求」と朱書すること。

〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1  
国立国際医療センター運営局庶務第一課人事係  
TEL 03-3202-7181（内線2042）

なお、研修内容に関する連絡は下記まで。

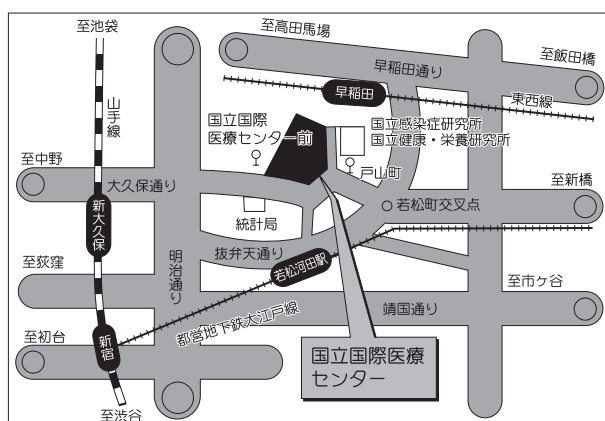
〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1  
国立国際医療センター戸山病院 TEL 03-3202-7181  
教育部長 正田 良介（PHS 5311）  
歯科口腔外科医長 丸岡 豊（PHS 5358）

募集要項 Internet Address : <http://www.imcj.go.jp/admi/recruite.htm>

## 14. 環境

当院は新宿区の中央高台に位置し、国立感染症研究所が隣接している。また、広大な戸山公園にも隣接し、周辺には早稲田大学、学習院大学、東京女子医科大学なども位置する東京有数の緑地住宅街であり、緑の木々に包まれた静かな地域にある。徒歩数分以内の若松町商店街では、日常の生活用品の購入、食事等が可能である。新宿駅へは、バスで20分・都営地下鉄大江戸線で10分程度の近距離にあり、また、メトロ副都心線の開通により池袋、渋谷へも交通至便となった。さらに、東京ドーム、神宮外苑、新宿御苑などにも近く、公私ともに充実した研修医生活をおくりうる環境が整っている。

## 15. 交通



- (1) 都営地下鉄大江戸線若松河田駅から、徒歩約5分。
- (2) JR 大久保、新大久保駅から、新橋駅行き都営バスにて、国立国際医療センター前下車（約10分）。
- (3) JR 市ヶ谷駅前から、小滝橋車庫行き都営バスにて、国立国際医療センター前下車（約20分）。
- (4) JR 新宿駅西口（小田急ハルク前）から、医療センター経由東京女子医大行き都営バスにて国立国際医療センター前下車（約20分）。
- (5) 東京メトロ東西線早稲田駅から、徒歩約10分。

# 国立国際医療センター配置図

